

東京都医学総合研究所の抗体保有調査結果について

調査結果のポイント

- ワクチン4回目接種から3～4か月後の中和抗体価は、3回目接種から4か月後と比較して、有意に上昇
- 4回目接種後の中和抗体価は、接種3か月後までほぼ横ばいであり、その後、高い値であるものの減衰するが、5回目接種により、4回目接種から1～3か月後と同等まで上昇

専門家の意見

- 感染防御に働く血中抗体量は、4回目接種により大きく増え、半年程度高い値が持続する。海外の研究によれば、感染予防効果はそれより早く下がるものの、感染拡大時など、時機を見て追加接種をした方がよい。
- 一定程度の感染予防効果や、重症化予防効果も期待できることから、後遺症や、高齢者等の重症化リスクを考えると、追加接種は重要である。

- 3回目接種から時間が経過し、中和抗体価が減少していると考えられることから、冬の感染拡大に備えて、4回目接種を進めていくことが重要
- また、5回目接種により、4回目接種から1～3か月後と同等まで中和抗体価が上昇することから、高齢者など、重症化リスクが高い方の5回目接種を早期に進めていくことが重要